

教科名	福祉	科目名	介護実習（2年次）【2単位】（3年次）【4単位】	
授業形態	現場実習			
選んでほしい生徒	生活福祉系列を選択した人(2年次生、3年次生)			
科目の目標	これまでに学習した知識や技術を使いながら、介護サービスを提供する体験を通じて、実際に介護職として働くことのできる力を養う。			
身に付けてほしい学力	<ol style="list-style-type: none"> 福祉の他の科目で学習したことを応用して使う。 介護に必要な基礎的知識を理解し、技術が確実に行え、それを実際の現場で行えるようにする。 職業や介護に関する自分なりの考えを養う。 			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	2年次 【2学期】 ・高齢者施設での現場実習 3年次 【1学期】 ・高齢者施設での現場実習 ・在宅サービス提供現場実習 【2学期】 ・高齢者施設での現場実習 ・通所サービス提供現場実習	・現場実習は学校に登校せず、丸1日を高齢者施設で実習を行う。高齢者施設での実習は10日間行われる。利用者や職員とのかかわりを通して、福祉施設や介護業務について実際に学んでいく。 ・現場実習で利用者について深く理解し、一人一人の介護で必要なことを考え、その人にあった介護計画を立てる。在宅サービスでは、ヘルパーさんに同行して利用者の自宅を訪問し、在宅介護について学んでいく。		
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	・介護の現場に関心をもち、介護に関する体験的な学習に主体的に取り組み、知識と技術を総合して適切で安全な介護を実践しようとしている。	・福祉に関する他の科目で学習した知識や技術を統合して利用者の状況や状態に応じた介護を目指して思考を深め、専門職としての倫理観、職業観、勤労観をもって適切に判断し、介護現場における介護活動の現状について総合的に考察している。	・福祉に関する他の科目で学習した知識や技術を統合しながら介護を行うとともに、利用者の状況に応じた適切で安全な介護が行える。	・介護活動に必要な基本的知識と実践的な技術を習得するとともに、多職種協働における介護従事者の意義や役割、職業倫理について理解している。
	上記の観点を踏まえ、実習指導者による評価、実習記録、介護計画、現場実習前後の感想、実技練習への意欲や実習中の態度等を総合的に判断して評価を行う。			
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 現場実習は利用者が実際に生活をされているところで行わせていただくので、十分な準備を行って取り組みます。 慣れない環境での実習となるため、自己の健康管理が大切です。 			
教材費	施設までの交通費（実費）、インターンシップ保険、胸部X線検査、インフルエンザ予防接種			
その他	介護福祉士国家試験の受験資格、介護員養成研修(初任者研修)修了認定に必要な科目です。			